

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4075500415		
法人名	医療法人 安倍病院		
事業所名	グループホーム みどりの里		
所在地 (電話番号)	宮若市長井鶴230番地 (電話) 0949-33-2700		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成19年8月22日	評価確定日	平成19年9月26日

【情報提供票より】(19年7月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年8月18日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 17 人, 非常勤	人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物形態	併設人(単独)	新築/改築
建物構造	鉄骨	造り
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	840 円		

(4) 利用者の概要 (7月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	74 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	安倍病院、安倍眼科医院、塩川歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは眼科、歯科クリニックと近接し、また病院併設ということもあり、医療、介護スタッフの協力のもと医療連携体制が確保され、緊急時の対応も不安なく家族も安心している。管理者と職員がともに入居者の目線に立ち支援している。前年度指摘を受けた点についても改善がみられ、よりよいホームづくりに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議を機会に宮若市企画の「福祉祭り」への参加も予定しており、市町村との交流ができつつある。また場所間違い等も改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員ともに自己評価を行うことで、さらなる努力を検討していく体制がみられる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>市の職員が運営会議に出席しており、情報交換がなされている。市より「福祉まつり」参加の要請があり、それを機会に地域との交流を図っていく予定である。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>家族会やホーム便りにより家族との連携も図られてきている。意見箱の活用やクレーム委員会が設置され、体制はできている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運動会の見学や病院併設のデイケアの方々との交流、近隣の店での馴染みの関係はできているが、今後よりいっそう自治会や老人会行事等の地域活動への参加が望まれる。市企画の「福祉祭り」へ参加する予定である。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は事業所独自のものとして創られているが、「地域で支えていく視点」が不十分であり、現在、見直し作業を行っている。		運営理念は五つの項目が掲げられ、一つ一つはケアの提供にあたり大切なことが挙げられている。今後、さらに「地域に密着することの意味」を職員と振り返り、理念を見直すとのことで期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、理念を唱和している。また、カンファレンス等で利用者の状況を確認している。ただし、職員のヒヤリングにおいて理念が具体的に表現できない点もみられた。		理念の見直しの際、五つの項目を整理し、利用者・家族、職員にもわかりやすい表現となることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会等に参加したり、よく買物に行く近隣のスーパー店員と顔馴染みで挨拶を交わすなどの交流はある。		地域住民の一員として自治会等に参加し、事業所と地域の人々が支えあうような積極的な地域交流が望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	場所間違いについて改善を試みている。また、宮若市企画の「福祉祭り」への参加も予定している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では入居者の生活状況、活動・サービス提供状況、評価の取組状況について報告や話し合いが行われている。福祉祭りへの参加も運営推進会議に出席した市職員からの要請によるものである。		会議は定例化してきているが、地域密着型としての啓発活動を積極的に進められることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	外部評価の結果を市の担当者に提出することになっており、相談体制はできている。また、市から福祉サービスの情報を受け、サービス計画に取り入れている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	地域権利擁護事業等の資料は回覧されているが、研修は行われていない。		今後は活用されるケースを想定し、地域権利擁護事業や成年後見制度について市から情報を受け、パンフレット或いは文書等を用いて、利用者及び家族等に説明ができるようになることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	三ヶ月に一度は文書で報告している。また、家族会は二ヶ月に一度開催し、利用者・家族、職員が一緒に過ごす機会をつくっている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見、苦情に対応するためのクレーム委員会が設置されている。		意見箱は設置しているが、実際に活用されることは少ない。 クレーム委員会の実働により、アンケート調査等で家族より幅広く意見を汲み取る仕組みも必要である。
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は二つのユニット間をローテーションし、顔馴染みの関係をつくるよう努めている。新しい職員が入る際は、すでに顔馴染みの職員が関わりながら利用者との関係を構築するよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別や年齢等で職員の採用対象から除外するようなことはしていない。 また、職員の資格取得の希望に対し、勤務調整を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	資料は回覧されているが、研修は行われていない。		これから予定されている研修において、人権尊重について職員への周知徹底を図ることを期待する。
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体の医療施設で毎月行われる勉強会に出席するとともに、事業所内で指導を受けながら勉強を重ねている。 また、自己のスキルアップのための研修参加ができる勤務体制も確保されている。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	一部の事業所とは定期的に交流をする機会を持ち、情報交換等がなされている。		グループホーム協議会に加入する等、多くの事業所と交流する機会を持ち、より積極的な情報収集と意見交換をしていくことが望まれる。
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者は法人内の病院、デイケアからの利用者であり、入院中、或いはデイケア利用中の際に職員が出向き、顔馴染みの関係をつくるようにしている。また、体験入所もしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護するのみではなく、調理の仕方、洗濯物のたたみ方など、利用者の培ってきたものを引き出しながら支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴の記載欄はあるものの、どのように過ごされてきたのか、詳しく記載していない。		利用者の生活歴は記録として残し、日常のケアに活かしていくことを期待する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月1回カンファレンスを実施し、職員間での情報交換をしながらケアのあり方について検討している。また、家族会等で家族の意向を聞き計画作成に取り組んでいる。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月1回実施されるカンファレンスをもとに、3ヶ月に一度モニタリングをし、利用者・家族の要望を確認しながら計画書を作成し家族に配布している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の要望に沿い、買物・馴染みのある理美容院やデイケアへの同行などの支援をしている。墓参りにも同行している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	多くの入居者のかかりつけ医は母体の病院であり、職員が受診援助をしている。また、病院から医師が週1回、看護師が健康チェックのため毎日訪問するなど医療が受けられる体制が整っている。また、歯科、眼科クリニックも近接しており、利用者にとって安心して暮らせる環境にある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、母体病院への入院を希望される利用者・家族が多いが、家族がホームでの看取りを希望すれば対応可能である。 医師による週1回の往診があり、看護師が毎日健康チェックにくるなど医療との連携は図られている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄誘導などさりげなく行われ、プライバシーを損ねるようなことはない。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にし、また、適時声掛けを行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介護度の重い方が多いせいか、後片付けを手伝われる利用者の方は少ない。		調理、後片付けは一緒にできなくとも、利用者の好みのメニューを聞いたり、盛り付け、味付け等について話しを交わす等、利用者と職員が関わりを持ちながら食事が楽しめるような工夫に期待する。
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回午後より利用者の希望時間に行っている。病状により併設病院の看護師より入浴の見守り支援を受けている。入浴を拒否される人にも頃合を見計らって誘導している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一部の入居者は食器を洗ったり能力を活かした活動を行っているが、重度の方が多いためか役割分担をもつことは難しいようである。		重度の方でも援助があればできることは何かを考え、日々の暮らしのなかでの支援に活かしていくことに期待したい。
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の散歩、スーパーでの買物、母体病院のデイケアが主催する行事への参加など、外出ができるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、見守りやセンサーにより日中は鍵をかけないケアを実践している。 また、病院職員の協力体制もできている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署職員の指導のもと、併設病院と協力して火災訓練が行われている。地域は高齢化が進んでおり、協力を得るのは難しい状況である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量、栄養バランス、水分量は把握している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や庭は花や植栽があり、ホーム内は飾り等で家庭的な雰囲気が醸し出されている。室温、換気等は職員により適宜調整されている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人の馴染みのある装飾品や使い慣れた品々が置かれ、居心地よく過ごしている。また、利用者の状態に応じてベッドの工夫や手摺が設置されている。		